

園芸学

先端食農学科 2年3組15番 仲尾拳志

私の好きな花菖蒲：清少納言



・清少納言を見て感じたこと、思ったこと

私は、多くある花菖蒲の中でとてもお気に入りとなったのは、清少納言です。

清少納言は、江戸系であるため、平咲きの形である、三英花です。花の色は藤

紫色であり、堅花であって、中輪です。私は、この名前を見た瞬間に衝撃を受

けました。花の名前を昔の偉人のフルネームで名付けることは、すごくおもしろ

いと思いました。清少納言という人物は、ご存じの通り、平安時代にいた、

「枕草子」の作者として有名な人物です。そして、花の形を見たとき、私は、

偉人である清少納言が着ていたりする「十二単」を思い浮かべました。十二単

という服装は上から唐衣・表着・打衣・五衣・単・長袴・裳となっています。

着こんでいる枚数は唐衣一枚に表着一枚、打衣一枚、五衣五枚の、合計 8 枚になっています。これらを着ている清少納言がとっさに頭に浮かびました。全体的に薄い青紫色の中、脈は濃い藤色をしており、とても日本らしさを感じられる花菖蒲であると感じました。江戸系の花菖蒲は、複数になって咲くことができるため、この清少納言の花菖蒲が群になって咲いているところにいつか行ってみたいと思いました。嫌なことを抱えている時に眺めてみると、その悩みもすぐに打ち解けられることができるような、そんな素敵な花菖蒲だと感じました。